



じゃがいもずきん「ききぼう」くん

地震が発生した際、なるべく被害を減らせるように平時から自宅の家具の配置を見直したり、食料などの備蓄品や非常持ち出し品を準備しておくで安心です。

また、地震が発生したら、どのように行動すればよいか日頃から確認するようにして、被災時に落ち着いた行動ができるように備えておきましょう。

自助

自宅へ備える 平時～地震発生前

家具の配置の見直しや固定などを行い、家具の転倒によるケガなどを防ぎましょう。また、自宅での避難生活に備えて食料品や飲料水など、備蓄品や非常持ち出し品の準備をしましょう。

まずは事前の備え

地震発生 グラッときたら!! 0～2分

グラッと揺れたら、まず落下物から身を守りましょう。

- ・机の下に入る
- ・クッションなどで頭を保護する
- ・家具から離れる
- ・ガラス面から離れる

とにかく自分の身を守る

大きな揺れがおさまった! 2～5分

台所やストーブなどの火の始末をしましょう。避難のときはブレーカーを落とすこと、ガスの元栓を閉めることも忘れないようにしましょう。

火の始末をし、しっかり火災防止

火の始末のあと 5～10分

自分の身の安全を確保できたら、次のことを行いましょう。

- ・家族の安全の確認、確保
- ・ガラス片や転倒家具に注意
- ・避難のための出口の確保

家の安全確認、確保

共助

地域を守る

外に出たあと 10分～半日

隣近所で安否の確認をして、協力し合い、近隣住民の救出、救護にあたりましょう。

- ・倒壊家具や転倒家具の下敷きになっている人の救出
- ・火災発生時の初期消火活動
- ・けが人の救護
- ・消防署への通報

隣近所の安否確認、助け合い

避難所へ避難後 半日～

避難所の円滑な運営には、自主防災組織、町内会、地域住民の協力が不可欠です。協力して、避難所を運営しましょう。

自主的な避難所運営

災害用伝言ダイヤル「171」

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「声の伝言板」として、災害用伝言ダイヤルがあります。

安否情報などを家族や知人に知らせる方法として災害用伝言ダイヤルを活用しましょう!!

一般社団法人北海道LPガス協会根室支部中標津分会

防災資機材寄贈式

一般社団法人北海道LPガス協会根室支部中標津分会（小野 利康 分会長）様から、避難所運営の一助のため、炊き出しセット一式の寄贈を受けましたので、7月25日(月)に寄贈式を執り行いました。





中標津町

毎年10月4日は



防災の日です!

1994（平成6）年10月4日22時23分、北海道東方沖地震が発生しました。

地震の規模は、マグニチュード8.2と、2011（平成23）年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震が起こるまでは、気象庁がデータを整理している1923（大正12）年以降、日本周辺で発生した地震としては、最大級の地震でした。

最大震度は、釧路市と厚岸町で震度6と観測され、中標津町は当初震度4と発表されましたが、地震計が設置されている場所が市街地から離れ、地盤も頑丈であったため被害状況から判断して震度5強～6弱程度の地震だったと推測されています。

釧路市での被害が目立っていましたが、中標津町での被害も甚大で、建物や道路が損壊し、断水により給水車が出動するなど、大きな被害を受けました。

中標津町では、災害での教訓を風化させないため、北海道東方沖地震が発生した10月4日を「中標津町防災の日」として定めています。



写真は全て、当時の中標津町の様子です。

詳しくは、総務課 防災係まで。